

こんにちは。

私は、玉川大学リベラルアーツ学部にてポピュラー音楽/STEAM 教育を研究する教員の加茂フミヨシと申します。

私が研究代表者として実施を予定しております「ピアノ演奏教育に関する実験」につきまして、参加者募集のご案内です。

今回の実験は、ポップスやロックなどを含む「ポピュラー音楽」において、「コードネームを見てピアノを演奏する力」に着目し、その教育方法の発展に役立てることを目的とした研究です。

「コードネーム伴奏の力」は、現代の音楽教員を目指す学生にとって重要な実践的能力の一つであります。

小学校・中学校・高等学校それぞれの音楽教育において、「コードネームによる伴奏」の重要性が指摘されていますが、これらについて十分な教育メソッドはまだ構築されておられません。

私の研究は、「コードネームを見てピアノを演奏する力を育成する、新しい教育プログラムの開発」を目的の一つとしております。

つきましては、ぜひ音楽系教員または音楽演奏に興味がある皆様に、本研究の実験参加者としてご参加いただきたく、ご案内させていただきました。

実験では、全国の教育機関でも導入例が限られる、非常に希少なグランドピアノ、スタインウェイ & サンズ社の“SPIRIO r”を使用します。

プロのミュージシャンでもなかなか触れる機会のない特別な楽器であり、音楽が好きな方、ピアノや演奏に興味のある方にとっては、貴重な体験になると思います。

また、ポピュラー音楽において楽譜やコードネームを見ながら演奏する際、演奏者が実際にどこをどのように見ているのかについては、まだ十分に明らかになっていない部分があります。

この実験では、センサ技術や視線計測などを用いて、ミュージシャンが普段なかなか言葉にできない「演奏のコツ」や「感覚」を分析します。

私の研究は、こうしたミュージシャンの暗黙知を明らかにし、音楽教育の発展に役立てることを目的としております。

ご参加いただく方には、実際の研究現場を体験していただけるだけでなく、謝礼もお支払いする予定です。

今回は、30～40名程度の参加者を募集しております。

参加条件は、以下のとおりです。

①ピアノ経験は初心者でも構いません。ただし、3日間の実験日にすべて参加できること

※実験日と予定が重なる場合には、予備日も用意しております。

②研究内容の詳細については、研究成果の公表前に外部へ共有することをお控えただけのこと

③実験3日間のうち1日は、裸眼またはコンタクトレンズで参加できること

※普段眼鏡を使用していて、参加を希望される方は事前にご相談ください。

その他の詳細につきましては、対面または動画にて詳細説明をさせていただきます。

実験の参加・不参加によって学生の皆様に不利益なことはございませんので、ご安心いただけたらと思います。

また、私の研究内容についてご関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、昨年発表いたしました以下の論文もご参照いただけます。

日本音響学会 招待論文

音に隠された演奏技法——ロックギター演奏の暗黙知を探る——

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jasj/81/7/81_489/_article/-char/ja/

ご不明な点がございましたら、以下のメールアドレスまでお気軽にお問い合わせください。

kamof@lba.tamagawa.ac.jp

参加を希望される方や、本件で質問がある方は、添付 PDF に記載の内容をご確認のうえ、上記メールアドレスまでご連絡いただく形でお申し込みいただけます。

どうぞよろしくお願いいたします。

加茂フミヨシ